文法への扉1　言葉のまとまりを考えよう（言葉の単位）(1)

言葉の単位

言葉は、いくつかのまとまりに区切ることができる。言葉の単位には、言葉をどこまでまとめるかによって次のようなものがある。

文章・談話 ー 段落 ー 文 ー 文節 ー 単語

①**文章・談話**…あるひとまとまりの内容を文字や音声で表したもの。
文字で表されたものは文章、音声で表されたものは談話という。

②**段落**…文章を内容ごとのまとまりで区切ったもの。
段落の始まりは、書き出しを一字下げて表すことが多い。

③**文**……ある内容を表すひと続きの言葉。
文の終わりには句点（。）を付けることが多い。

文章

段落　**段落**

文

二人は一度にはねあがってドアを飛び出して改札口へかけて行きました。ところが改札口には、明るい紫がかった電燈が、一つ点いているばかり、誰も居ませんでした。そこら中を見ても、駅長や赤帽らしい人の、影もなかったのです。

二人は、停車場の前の、水晶細工のように見える銀杏の木に囲まれた、小さな広場に出ました。そこから幅の広いみちが、まっすぐに銀河の青光の中へ通っていました。

（宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より）

④**文節**…文を、自然な発音や意味となる範囲でできるだけ短く区切ったまとまり。

（例）鳥が（文節）ネ／青い（文節）ネ／空を（文節）ネ／飛ぶ。（文節）

※文に「ネ」を入れて区切ってみるとよい。

⑤**単語**…それだけで意味をもつ最も小さい言葉の単位。

（例）鳥（単語）／が（単語）／青い（単語）／空（単語）／を（単語）／飛ぶ。（単語）

※単語にはいろいろな種類がある。

鳥・空　→　ものの名前を表す。

青い・飛ぶ　→　動作や様子を表す。

が・を　→　他の単語に付いて使われる。

確認テスト

(1) 次の言葉のまとまりを、大きなまとまりから順に並べかえなさい。

ア 単語　**イ** 段落　**ウ** 文
エ 文章・談話　**オ** 文節

〔　→　→　→　→　〕

(2) 次の文の（　　）に当てはまるものを選びなさい。

（　　）は、文章を内容ごとのまとまりで区切ったもので、始めを改行し、一字下げることで表す。

ア 文　**イ** 文節　**ウ** 単語　**エ** 段落　〔　　〕

(3) 次の文章には文が３つ含まれる。適切な位置に句点を打ちなさい。

日本語の文は、主に漢字と仮名を組み合わせた　漢字仮名交じり文で表される　漢字は中国で生まれた　文字で、一字が意味と音を表す　一方、仮名は漢字をもとに生まれた　文字で、意味は表さない

(4) 次の文を、①は文節に、②は単語に分け、それぞれ斜線（／）で区切りなさい。

① 私 は 国 語 の 問 題 を 解 く。

② 私 は 国 語 の 問 題 を 解 く。

(5) 次の文を、①は文節に、②は単語に分け、それぞれ斜線（／）で区切りなさい。

① ネ コ が 校 庭 を 走 っ た。

② ネ コ が 校 庭 を 走 っ た。